

# SMILE

☆ 今月も笑顔(スマイル)でスタート

10月号 Vol.90

## 今月の SMILE

今月は国慶節の月です！

まいど おおきに！

今月は国慶節もあり、弊誌の発信は10日となりました。駐在員の皆さん、良い国慶節の休みを過ごされましたか？早いものでもう10月です。第4四半期に入りました。いよいよ今年最後の追い込みに入りましたね。

上海市政府の発表によれば、10月7日の感染状況は、23件の陽性者が発生しました。内、2件が症状があり、21件が無症状であったとのこと。しかしその陽性者には濃厚密接者の人もいますので、そのような人が住むマンションでは、2日間以上の封鎖となり自宅内での隔離が必要となります。筆者の居住区内でも、国慶節中に濃厚接触者となった人がいて封鎖されてしまいました。第4四半期のスタートダッシュのこの時に、まだまだゼロコロナの影響が続いています。

世界銀行が9月26日に発表した報告書によれば、中国の経済成長率を2.8%と大幅に下方修正しました。初の3%を下回る見通しとなります。同銀行の4月の予測が5.1%であり、6月が4.3%でしたので、今回の数字は、これらの予測を大きく下回る内容でした。ちなみに中国政府の今年の目標は5.5%です。世界銀行が挙げている中国の経済成長率の鈍化の要因には、厳格なゼロコロナ政策と経済活動の約30%を占める不動産業が、総量規制で大きな打撃を受けたこと、そして輸出の伸び悩みなどを指摘しています。次に、東アジア・太平洋地域の今年の経済成長率では、2021年の7.2%から3.2%に伸び悩んでいます。来年は4.5%に回復すると予測されています。その理由としては、東アジア・太平洋地域では、各国の防疫緩和による内需回復と輸出増加によるものと分析しています。またフィナンシャルタイムズによれば、中国の経済成長は、1990年以来初めて、ベトナム、フィリピン、マレーシアなどの他のアジア諸国より遅くなっている、と伝えています。そしてモルガン・スタンレーの9月27日の今後の中国の変化の見通しについて、消費とサービス業が経済成長の唯一の柱となり、内需の潜在力を引き出す唯一の方法は、経済の再解放だと予測しています。同社では、来春に中国が封鎖を解除すれば、景気回復は来年第2四半期から高まり、来年下半年には5.5%にまで加速すると予想しています。さてこのモルガン・スタンレーの今後の予想は当たるでしょうか？当たったとしても来年第2四半期からというのは、まだまだ先ですね。

このような状況でも、今月も笑顔(スマイル)でスタートしましょう！



# 中国経済情報

## マクロ経済情報

### 8月、中国輸出、7.1%増に鈍化 コロナや熱波で

【北京時事】中国税関総署が7日発表した8月の輸出は、前年同月比7.1%増の3,149億ドル(約45兆円)となった。伸び率は7月の18%から大きく鈍化した。新型コロナウイルスの感染拡大や、熱波に伴う電力不足で、企業の生産活動が圧迫された。中国では8月からコロナ感染が再拡大し、ロックダウン(都市封鎖)などの厳しい行動制限が経済に打撃を与えている。製造業の集まる長江流域などでは数十年ぶりの規模の熱波に見舞われ、電力供給が混乱した。中国の8月の貿易は輸出、輸入ともに伸びが減速したが、対ロシア貿易は拡大した。

詳細について、下表をご覧ください。

2022年8月全国進出口総額表  
(2022年8月全国輸出入総額表)  
2022年9月8日

(注:括弧内は日本語訳である)

単位: 億米ドル(億米ドル)

項目	当月	1月~当月まで累計	当月		1月~当月まで累計
			前月との比較±%	去年同期との比較±%	
進出口総額(輸出入総額)	5,504.5	41,914.2	-2.4	4.1	9.5
出口総額(輸出総額)	3,149.2	23,759.7	-5.3	7.1	13.5
进口総額(輸入総額)	2,355.3	18,154.5	1.8	0.3	4.6
進出口差額(輸出入差額)	793.9	5,605.2	-	-	-

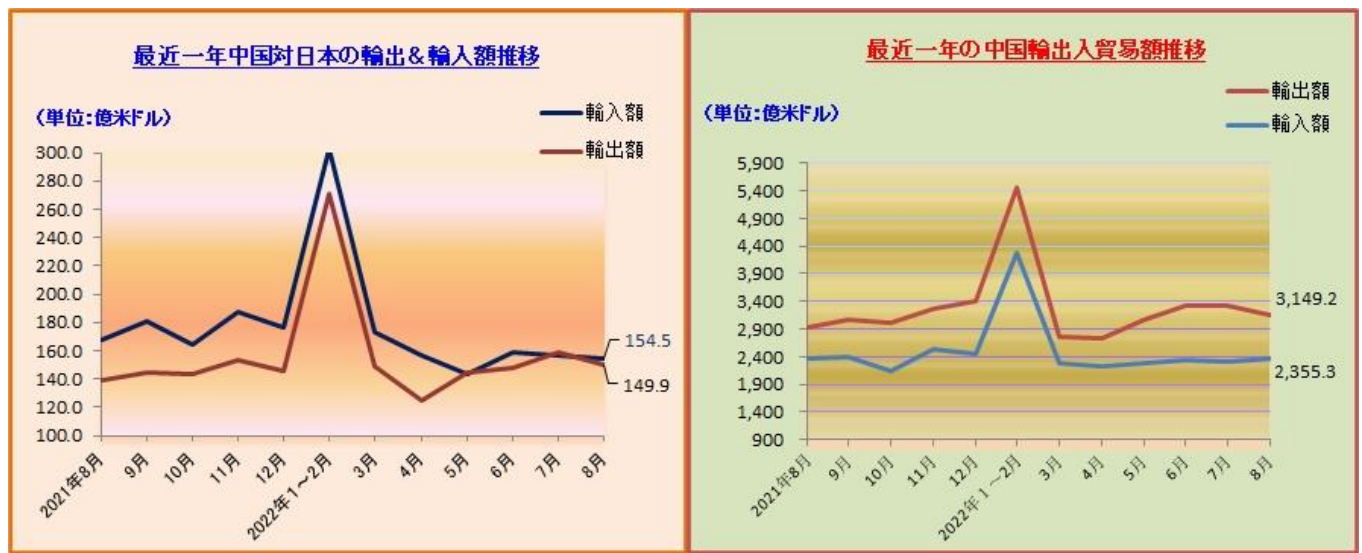
注: 進出口差額、+が出大于進、-が進大于出

輸出入差額、「+」は輸出>輸入、「-」は輸入>輸出

2022年8月進出口商品主要国別(地区)総額表  
(2022年8月輸出入商品主要な国別「地区」総額表)  
2022年9月8日

(日本語)	(中国語)	単位: 百万米ドル(百万米ドル)								
輸入原産国(地区)	进口原産国(地区)	輸出入		輸出		輸入		累計額同期比較(%)		
輸出最終目的地(地区)	出口最終目的地(地区)	当月	1月~当月累計	当月	1月~当月累計	当月	1月~当月累計	輸出入	輸出	进口
<b>総額</b>	<b>総額</b>	550,447.7	4,191,415.7	314,920.5	2,375,970.3	235,527.2	1,815,445.4	9.5	13.5	4.6
その内、欧州連合	其中: 欧洲联盟	77,404.7	575,223.5	51,347.0	381,797.4	26,057.7	193,426.1	8.8	18.4	-6.2
その内、ドイツ	其中: 德国	20,935.5	154,997.2	10,826.5	79,662.8	10,109.0	75,334.4	2.0	10.5	-5.7
オランダ	荷兰	12,102.2	86,601.5	10,931.9	78,280.0	1,170.4	8,321.5	20.1	24.5	-10.0
フランス	法国	7,366.6	54,940.9	4,128.9	31,865.3	3,237.7	23,075.7	1.4	10.4	-8.8
イタリア	意大利	6,709.6	54,369.7	4,108.3	35,934.7	2,601.3	18,435.0	13.8	32.1	-10.3
アメリカ	美国	62,776.9	514,958.9	49,774.8	397,151.3	13,002.0	117,807.5	9.5	12.2	1.3
東南アジア諸国連合	东南亚国家联盟	83,895.3	627,579.0	49,415.8	364,076.2	34,479.5	263,502.8	13.3	19.4	5.8
その内、ベトナム	其中: 越南	20,248.5	149,792.5	12,413.7	95,937.2	7,834.8	53,855.3	0.8	4.8	-5.6
マレーシア	马来西亚	17,298.8	131,206.8	8,135.1	59,922.0	9,163.7	71,284.8	21.2	30.8	14.0
タイ	泰国	11,064.1	91,159.5	6,481.4	51,922.0	4,582.7	39,237.5	6.0	17.2	-5.8
シンガポール	新加坡	10,104.8	69,986.8	7,433.1	46,256.5	2,671.7	23,730.3	16.8	35.5	-7.9
インドネシア	印度尼西亚	13,572.3	95,695.5	6,423.0	47,281.8	7,149.2	48,413.7	28.6	26.2	31.1
フィリピン	菲律宾	7,775.0	57,746.4	5,828.8	41,856.0	1,946.2	15,890.4	11.2	15.4	1.5
日本	日本	30,438.3	238,985.4	14,989.0	114,280.8	15,449.3	124,704.6	-1.3	6.6	-7.5
中国香港	中国香港	22,859.4	193,111.0	22,058.9	188,450.2	800.5	4,660.8	-12.5	-11.9	-30.4
韓国	韩国	30,871.2	245,476.9	13,850.9	109,086.7	17,020.3	136,390.3	7.2	16.2	1.0
中国台湾	中国台湾	25,962.2	217,412.3	6,294.0	56,334.4	19,668.2	161,077.9	4.6	12.0	2.2
オーストラリア	澳大利亚	19,556.0	148,014.9	7,078.7	50,246.4	12,477.3	97,768.5	-3.8	23.6	-13.7
ロシア連邦	俄罗斯联邦	19,210.3	117,205.6	7,995.7	44,256.6	11,214.6	72,948.9	31.4	8.5	50.7
インド	印度	11,445.2	91,195.8	9,954.3	78,576.8	1,490.9	12,619.0	16.0	33.9	-36.7
イギリス	英国	9,749.9	69,503.4	7,934.9	54,249.0	1,815.0	15,254.4	-2.5	-0.8	-8.3
カナダ	加拿大	10,138.2	60,954.4	4,984.7	37,553.8	5,153.4	23,400.7	18.0	18.6	16.9
ニュージーランド	新西兰	2,089.2	17,308.2	902.2	6,102.4	1,187.1	11,205.8	5.0	15.5	0.1
ラテンアメリカ	拉丁美洲	46,408.3	329,251.4	24,833.3	170,930.0	21,575.0	158,321.4	13.1	20.1	6.5
その内、ブラジル	其中: 巴西	17,652.8	117,162.3	6,480.8	42,174.6	11,172.0	74,987.7	6.6	27.8	-2.5
アフリカ	非洲	25,403.6	189,706.1	14,957.9	106,751.1	10,445.7	82,955.1	16.1	13.5	19.8
その内、南アフリカ	其中: 南非	6,352.8	38,093.3	2,375.9	15,752.0	3,976.9	22,341.3	9.2	22.1	1.6

注:  
1. 東南アジアのナショナルリーグはブルネイ、ミャンマー、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムを含む。  
2. 欧州連合は、ベルギー、デンマーク、ドイツ、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、オーストリア、フィンランド、スウェーデン、キプロス、ハンガリー、マルタ、ポーランド、エストニア、ラトビア、リトアニア、スロベニア、チェコ共和国、スロバキア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチアを含む。  
3. 2020年2月1日から、EUとの貿易総額はイギリスのデータを含まず、前年同期にも対応の調整を行った。



### 2022年8月のCPIとPPIの前年同月上昇幅はいずれも下落

国家統計局は今日、2022年8月の全国CPI(住民消費価格指数)とPPI(工業生産者出荷価格指数)のデータを発表した。これについて、国家統計局都市司高級統計士の董莉娟氏による分析。

#### 1、CPI 前月比は上昇から下落に転じ、前年同期比の上昇幅はやや下落した。

8月、各地域の各部門は党中央、國務院の政策決定と配置を真剣に貫徹、実行し、疫病と極端な天気影響の克服に努め、供給安定価格の確保に積極的に取り組み、消費市場の運営は全体的に安定している。

前月比で見ると、CPIは前月比0.5%上昇から0.1%下落に転じた。そのうち、食品価格は0.5%上昇し、上昇幅は前月より2.5ポイント下落し、CPIの上昇に約0.10ポイント影響した。食品の中で、生豚の出荷は徐々に正常に回復し、消費需要の季節的な弱さに加え、豚肉の価格は0.4%上昇し、上昇幅は前月より25.2ポイント下落した。8月に北方の野菜の出荷量は増加したが、中下旬の南方の高温干ばつの天気は野菜の生産供給に影響を与え、全国の新鮮な野菜の価格は先に下がってから上昇し、全月平均は前月より2.0%上昇し、上昇幅は過去同期の平均水準を下回った。卵と果物の価格はいずれも季節的に変動し、それぞれ3.5%上昇し、1.0%下落した。食糧、食用植物油、水産物などのその他の食品の価格変動は大きくない。非食品価格は0.3%下落し、下落幅は前月より0.2ポイント拡大し、CPIの低下に約0.22ポイント影響した。非食品のうち、工業消費財の価格は0.7%下落し、下落幅は前月より0.2ポイント拡大し、そのうち国際原油価格の下落の影響を受け、国内のガソリンとディーゼル油の価格はそれぞれ4.8%と5.2%下落し、合計の影響でCPIは約0.20ポイント下落した。サービス価格は前月比0.3%上昇から横ばいに転じ、このうち疫病の影響で航空券と交通機関のリース料価格はそれぞれ7.5%と1.0%下落した。

前年同期比を見ると、CPIは2.5%上昇し、上昇幅は前月比0.2ポイント下落した。そのうち、食品価格は6.1%上昇し、上昇幅は前月より0.2ポイント下落し、CPIの上昇に約1.09ポイント影響した。食品のうち、豚肉の価格は22.4%上昇し、上昇幅は前月より2.2ポイント拡大し、主に前年同期の基数低下の影響だった。豚肉価格の上昇に伴い、鶏肉と鴨肉の価格はそれぞれ6.6%と12.7%上昇し、上昇幅は前月よりも拡大した。果物と野菜の価格はそれぞれ16.3%と6.0%上昇し、上昇幅は前月よりも下落した。食用植物油と食糧価格はそれぞれ7.9%と3.3%上昇した。非食品価格は1.7%上昇し、上昇幅は前月比0.2ポイント下落し、CPIの上昇に約1.38ポイント影響した。非食品のうち、工業消費財の価格は3.0%上昇し、上昇幅は前月より0.5ポイント下落し、そのうちガソリン、ディーゼル油、液化石油ガスの価格はそれぞれ20.2%、21.9%、19.8%上昇し、上昇幅はいずれも下落した。サービス価格は0.7%上昇し、上昇幅は前月と同じだった。

8月のCPIの前年同月上昇率2.5%のうち、昨年の価格変動の反りの影響は約0.8ポイント、新値上げの影響は約1.7ポイントと試算されている。食品とエネルギー価格を差し引いたコアCPIは前年同期比0.8%上昇し、上昇幅は前月と同じだった。



## 2、PPIリングは減少幅よりやや縮小し、前年同期比の上昇幅は下落を続けている。

8月には、国際原油、非鉄金属などの大口商品の価格変動伝導や国内の一部業界の市場需要の弱さなど多くの要素の影響を受け、工業品の価格動向は全体的に下落した。全国のPPIリングは下落幅よりやや縮小し、前年同期比の上昇幅は下落を続けている。

前月比で見ると、PPIは1.2%低下し、下落幅は前月より0.1ポイント縮小した。そのうち、生産資料の価格は1.6%下落し、PPIの低下に影響を与えたのは約1.18ポイント、生活資料価格は0.1%下落し、PPIが約0.03ポイント下落したことに影響した。主要業界では、石油・天然ガス採掘業の価格が7.3%下落し、石油石炭及びその他の燃料加工業の価格が4.8%下落し、石炭採掘と洗選業の価格が4.3%下落し、下落幅はいずれも拡大した。インフラ投資の牽引の影響を受けて、一部の業界の需要はやや改善され、黒金属製錬と圧延加工業の価格は4.1%下落し、非鉄金属製錬と圧延加工業の価格は2.0%下落し、非金属鉱物製品業の価格は1.0%下落し、下落幅はいずれも縮小した。高温天候の影響で電力需要が増加し、電力熱力生産と供給業の価格は1.1%下落から0.3%上昇に転じた。

前年同期比を見ると、PPIは2.3%上昇し、上昇幅は前月より1.9ポイント下落した。その中で、生産資料の価格は2.4%上昇し、PPIの上昇に約1.87ポイント影響し、PPIの上昇を推進する主要な原動力である、生活資料価格は1.6%上昇し、PPIの上昇に約0.38ポイント影響した。上流の主要業界では、石炭採掘と洗選業、石油と天然ガス採掘業、石油石炭及びその他の燃料加工業、化学原料と化学製品製造業の価格上昇幅が下落し、黒金属製錬と圧延加工業の価格下落幅が拡大し、非鉄金属製錬と圧延加工業の価格は上昇から下落に転じ、一部は中下流企業のコスト圧力を緩和した。PPIの前年同期比上昇幅の下落は前年同期比基数の上昇の影響を受けたほか、主に3つの要素の影響を受けた。第1は国際原油、非鉄金属などの大口商品の価格変動が下押しし、国内輸入性価格伝導圧力が軽減された、第2に、石炭などの業界の増産・供給保証効果が持続的に現れ、市場供給保障が有力である、第3に、複数の要因の影響を受けて、鋼材などの業界の需要が弱い。

8月のPPIの2.3%の前年同月上昇率のうち、昨年の価格変動の反りの影響は約2.5ポイント、新値上げの影響は約-0.2ポイントと試算されている。

詳細については、下表をご覧ください。



## 2022年8月份的居民消费价格（CPI）变动情况

（2022年8月消費者物價指數「CPI」變動情況）

（中国語）	（和訳）	8月		1~8月
		先月と比較 増減幅(%)	去年同月比較 増減幅(%)	去年同月比較 増減幅(%)
居民消费价格	消費者物價指數	-0.1	2.5	1.9
其中：城市	その内、都市部	-0.1	2.4	1.9
农村	農村部	-0.1	2.7	1.8
其中：食品	その内、食品	0.5	6.1	1.2
非食品	非食品	-0.3	1.7	2.1
其中：消费品	その内、消費品	-0.2	3.7	2.5
服务	サービス	0	0.7	1
其中：不包括食品和能源	その内、食品とエネルギーを含めない	0	0.8	1
分类別	類別区分			
一、食品烟酒	一、食品、タバコと酒	0.4	4.5	1.4
粮  食	糧食	0	3.3	2.6
食用油	油脂	0.7	7.5	4.7
鲜  菜		2	6	8.3
畜肉类	畜の肉類	0.6	10.1	-13.4
其中：猪肉	その内、豚肉	0.4	22.4	-22.8
牛肉	牛肉	0.1	1.3	0.7
羊肉	羊肉	1.1	-2.6	-4.4
水产品	水産品	0	-0.5	1.3
蛋  类	卵	3.1	1.7	6
奶  类	ミルク類	0	0.8	0.7
鲜  果	新鮮フルーツ	-1	16.3	13
烟  草	タバコ	0.1	1.3	1.6
酒  类	酒	0	1.5	1.6
二、衣着	三、衣類	-0.2	0.6	0.6
服  装	服装	-0.2	0.6	0.6
鞋  类	靴	-0.3	0.5	0.3
三、居住	八、居住	0	0.6	1.1
住房租金	住宅家賃	0	-0.5	0
水、电、燃料	水、電気、燃料	0	3.4	3.8
四、生活用品及服务	四、家庭用機器および保守サービス	0	1.3	1.1
家用器具	家電機器	-0.5	1.3	1.8
家庭服务	家庭サービス	0.1	2.6	2.9
五、交通和通信	五、交通と通信	-1.7	4.9	6.1
交通工具	交通機関	-0.2	-0.5	0.3
交通工具用燃料	交通工具用燃料	-4.7	19.9	25.1
交通工具使用和维修	交通工具の使用とメンテナンス	0	1.6	1.5
通信工具	通信ツール	-0.4	-2.5	-3.3
通信服务	通信サービス	0	-0.3	-0.3
邮递服务	郵便サービス	0	-0.1	-0.1
六、教育文化和娱乐	七、教育・文化と娯楽	0.1	1.6	2.1
教育服务	教育サービス	0.1	2.3	2.5
旅  游	旅行	-0.1	0.1	3.3
七、医疗保健	五、医療保健	0.1	0.7	0.7
中  药	漢方薬	0.1	2.8	2.4
西  药	西洋薬	0	-0.3	-0.5
医疗服务	医療サービス	0.1	0.9	0.9
八、其他用品和服务	六、その他用品とサービス	0.3	2.2	1.3

2022年8月工业生产者价格（PPI）主要数据  
 (2022年8月生産者物価指数「PPI」変動情況)

（中国語） 指 标	（和訳） 指 標	8月		1～8月
		先月と比較 増減	去年同月と 比較増減	去年同月と 比較増減
		(%)	(%)	(%)
<b>一、工业生产者出厂价格</b>	<b>一、工業品生産者出荷価格</b>	<b>-1.2</b>	<b>2.3</b>	<b>6.6</b>
生产资料	生産手段	-1.6	2.4	8.3
采掘	採掘	-4.5	10.1	28.1
原料	原料	-2.4	7.8	14.9
加工	加工	-0.9	-0.7	3.7
生活资料	消費資料	-0.1	1.6	1.2
食品	食品	0	3.7	2
衣着	衣料品	0.3	2.2	1.5
一般日用品	一般的な日用品	0	1.5	1.6
耐用消费品	耐久消費財	-0.4	-0.6	0
<b>二、工业生产者购进价格</b>	<b>二、工業品生産仕入れ価格</b>	<b>-1.4</b>	<b>4.2</b>	<b>9.1</b>
燃料动力类	燃料動力類	-2.2	19.5	28.5
黑色金属材料类	黒金属材料	-3.1	-10.8	0.3
有色金属材料和电线类	非鉄金属材料と電線類	-2.4	-0.6	10.2
化工原料类	化学原料類	-2.8	4.5	11.7
木材及纸浆类	木材及びパルプ	0.1	4.6	4.4
建筑材料及非金属类	建築材料及び非金屬類	-1	2.9	7.2
其它工业原材料及半成品类	その他工業原材料及び半製品類	-0.3	1.1	3
农副产品类	農業副産物	-0.3	7.8	3.1
纺织原料类	紡織原材料類	-1.3	4.3	7.8
<b>三、主要行业出厂价格</b>	<b>三、主要な業界の出荷価格</b>			
煤炭开采和洗选业	石炭採掘と水洗いと選鉱業	-4.3	8.6	36
石油和天然气开采业	石油と天然ガス採掘業	-7.3	35	44.7
黑色金属矿采选业	黒色金属鉱物採鉱業	-6.8	-29.5	-14.5
有色金属矿采选业	非鉄金属鉱物採鉱業	-1.1	4.6	10.3
非金属矿采选业	非金屬鉱物採鉱業	0.1	6.3	6.5
农副食品加工业	農業の食品加工業	-0.2	6.5	3.2
食品制造业	食品製造業	-0.2	3.7	4.3
酒、饮料和精制茶制造业	酒、飲み物と精製茶製造業	0.3	1.2	0.8
烟草制品业	タバコ製品業	0	0.5	0.8
纺织业	紡績業	-0.9	2.5	5.9
纺织服装、服饰业	紡織の服装、アパレル業	0.3	1.9	1.1
木材加工和木、竹、藤、藤、草制品业	木材加工や木、竹、藤、シヨロ製造業	-0.2	1.6	2.5
造纸和纸制品业	紙と紙製品業	-0.4	0.7	1.5
印刷和记录媒介复制业	印刷や記録媒体コピー業	-0.3	0.8	1.2
石油加工、炼焦和核燃料加工业	石油加工、コークスと核燃料加工業	-4.8	21.3	31.2
化学原料和化学制品制造业	化学原料と化学製品の製造業	-3.7	4.5	14
医药制造业	医薬品の製造	-0.3	0.4	0.5
化学纤维制造业	化学繊維製造業	-2.1	2.2	6.8
橡胶和塑料制品业	ゴム、プラスチック製品業	-1	0.5	2.7
非金属矿物制品业	非金屬鉱物製品業	-1	1.4	5.4
黑色金属冶炼和压延加工业	黒色金属精錬と圧延加工業	-4.1	-15.1	1
有色金属冶炼和压延加工业	非鉄金属を製錬すると圧延加工業	-2	-1.5	11.5
金属制品业	金属製品業	-1.1	-0.2	4.6
通用设备制造业	汎用設備製造業	0	0.6	1.6
汽车制造业	自動車製造業	-0.2	0	0.5
铁路、船舶、航空航天和其他运输设备制造业	鉄道、船舶、航空宇宙およびその他運輸設備製造業	0	1.2	1.7
计算机、通信和其他电子设备制造业	コンピュータ、通信やその他の電子設備	-0.2	-0.4	0.7
电力、热力生产和供应业	電力、熱生産や供給業	0.3	9.2	8.9
燃气生产和供应业	ガスの生産や供給業	0	18.6	17.4
水的生产和供应业	水の生産や供給業	0.1	1.2	1.4



製造業中小零細企業一部税金の納付猶予政策の継続実施に関する公告

製造業中小零細企業の発展を更に支援するため、国家税務総局と財政部が 2022 年 9 月 14 日に、「製造業中小零細企業の一部税金納付の継続猶予関連事項に関する公告」(国家税務総局・財政部公告 2022 年第 17 号)を公布しました。2021 年 11 月から税金猶予納付関連の政策が打ち出され、今回は再び更新されました。本公告は公布日から施行されます。その主な内容を以下の通り纏めました。

- 1.2022 年 9 月 1 日より、国家税務総局・財政部公告 2022 年第 2 号の規定に基づき、既に税金の 50%の納付猶予を享受していた製造業中型企業と税金金額の 100%の納付猶予を享受していた製造業小型零細企業は、その納付猶予税金の納付猶予期限を満了した後、継続して 4 ヶ月間延長する。
- 2.納付猶予となる税金は、2021 年 11 月、12 月、2022 年 2 月、3 月、4 月 5 月、6 月(月次納付) または 2021 年第 4 四半期、2022 年第 1 四半期、第 2 四半期(四半期納付)に属する企業所得税、個人所得税、国内増値税、国内消費税及び都市維持建設税、教育費付加、地方教育費付加であり、源泉徴収、代理徴収、または税務機関にて発票を代理発行する際に徴収された税金は含まない。
- 3.これらの企業が 2021 年 11 月及び 2022 年 2 月に属する上述の税金に対し、2022 年 9 月 1 日から本公告が公布する前まで既に納付済みの場合、自ら税金の還付申請を選択し、納付猶予の継続政策を享受することができる。
4. 具体的な猶予期限については、以下の表をご参照ください。

税金の所属期間 (月次納付)	従来の納付期限	納付猶予期間	猶予満了期限
2021 年 11 月	2021 年 12 月	猶予済み 9 ヶ月 継続猶予 4 ヶ月 合計 13 ヶ月	2023 年 1 月
2021 年 12 月	2022 年 1 月		2023 年 2 月
2022 年 2 月	2022 年 3 月	猶予済み 6 ヶ月 継続猶予 4 ヶ月 合計 10 ヶ月	2023 年 1 月
2022 年 3 月	2022 年 4 月		2023 年 2 月
2022 年 4 月	2022 年 5 月		2023 年 3 月
2022 年 5 月	2022 年 6 月		2023 年 4 月
2022 年 6 月	2022 年 7 月		2023 年 5 月
税金の所属期間 (四半期納付)	従来の納付期限	納付猶予期間	猶予満了期限
2021 年第 4 四半期	2022 年 1 月	猶予済み 9 ヶ月 継続猶予 4 ヶ月 合計 13 ヶ月	2023 年 2 月
2022 年第 1 四半期	2022 年 4 月		猶予済み 6 ヶ月 継続猶予 4 ヶ月 合計 10 ヶ月
2022 年第 2 四半期	2022 年 7 月	2023 年 5 月	



ナニワのおっちゃん経営道！  
《新コーナー》 社会人・企業人としての「ものの見方・みえ方」について語る！

第 84 回 : “のほほん上司” は、ずいぶん “優しそう！” …。  
“厳しい上司” は、ずいぶん “怖そう！” … “本当の優しさ” どっちかな?? 」

40 歳の時(28 年前)、義兄の支援の下、仙台市と札幌市で 10 年間経営した消費者金融業の店じまいをし、義兄の経営するダイキン工業(今や世界トップの空調メーカー)の下請け製造業の管理職に転職したのです。

40 歳の新入社員です。

それまでの私の経歴から経験したことは、

- ① 大学ゼミナールでのテーマが「中小工業経営論」であり、そこで学んだことは、「大資本の収奪機構下での中小資本の経営の厳しさ」でした。
- ② そして、一方的コストダウンや品質的要求などに従うしかない「メーカーと下請」という矛盾だらけの関係のなかで、現実の義兄の会社も、資金的にも、人材的にも、まさに絵にかいたような “厳しい経営環境下” の中小・下請け製造業でした。
- ③ さらに、消費者金融業の 10 年で、「人の心の弱さ」と「お金の怖さ」を思い知ら有れていた私にとって、“経営幹部がぬるま湯に浸っているなんて、決して許されるものではない！” … という考えでした。

ところが、就任時の目の前の私と同年代の先輩幹部たちとよしたら、幹部同士は危機意識のない、“仲良しクラブ” 的な人間関係を大事にし、部下たちには、“いいよ！ いいよ！！” を繰り返す、全く厳しさのない、現状に甘んじた “優しい上司” 達でした。

そんな就任間もないころ、オーナーの弟さんの経営する会社が、経営危機に陥り、私がいわゆる「立て直し！」役を仰せつかって、その会社に出向することになったのです。

当然、管理職として就任した私は、既存の幹部と違って “ずいぶん厳しい上司” とならざるを得ませんでした。

就任当初は、義兄の会社の幹部からは、「あまり厳しくしたら、きっと社員がついてこなくなるでえ～～！」という評価でした。でも私は、就任当初、全員を集め、皆に言いました。

- ① 今までのままでは、絶対に会社が死んでしまう！
- ② これからは、社員100人全員、一人一人が、自分のできることを、しっかり認識して、そのことをやってくれるだけでええ！ それ以上の無理を言うつもりはない！ ただ、やってくれているかどうかは、じっくり見させてもらう！
- ③ このことは、会社の為でも、私の為でもない、社員みんなの生活を守るためや！！

確かに厳しい姿勢で臨みましたが、毎日毎日現場に顔を出し、みんなの “ご機嫌伺い” をし続けました。ただ、それだけのことでしたが、生産性も、品質も随分向上したのです。

経営は、特別なことをするのではなく、当たり前の事を、当たり前にする努力をし続ける事なのですね。

お問い合わせは  
MYDO まで!!



(お問い合わせ先)

上海滿意多企業管理諮詢有限公司

〒200336 上海市長寧区 延安西路 2201 号

上海国際貿易中心 2415 室

TEL: +86-21-6407-0228 FAX :+86-21-6407-0185

E-mail: [info@shmydo.com](mailto:info@shmydo.com) URL: <http://shmydo.jp>